

各 位

上場会社名	タカセ株式会社
代表者	代表取締役社長 大宮司 典夫
(コード番号)	9087)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長 島津 和人
(TEL)	03-3571-9497)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年5月14日に公表した平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,700	88	95	55	5.50
今回修正予想(B)	4,655	16	28	13	1.38
増減額(B-A)	△45	△72	△67	△42	
増減率(%)	△1.0	△81.1	△70.1	△74.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	4,483	△43	△36	△78	△7.81

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	231	240	145	14.51
今回修正予想(B)	9,300	65	80	35	3.51
増減額(B-A)	△200	△166	△160	△110	
増減率(%)	△2.1	△71.9	△66.7	△75.9	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	9,051	10	18	△31	△3.11

平成27年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,100	75	80	45	4.50
今回修正予想(B)	4,139	2	11	0	0.01
増減額(B-A)	39	△73	△69	△45	
増減率(%)	1.0	△96.7	△85.9	△99.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	3,970	△71	△24	△58	△5.85

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,300	195	200	120	12.01
今回修正予想(B)	8,300	45	55	20	2.00
増減額(B-A)	—	△150	△145	△100	
増減率(%)	—	△76.9	△72.5	△83.3	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	7,951	△52	0	△28	△2.81

修正の理由

個別の当第2四半期累計期間の営業収益につきましては、依然として、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による収受料金の低下がみられる状況の中で、一部既存顧客に消費税増税前の駆込み需要の反動等による取扱物量の減少を国内物流拠点や海外ネットワークの拡大・充実により、新規顧客の導入と既存顧客の業務拡大によって補った状況であります。具体的には、倉庫内オペレーション業務の減少を利用運送事業分野での営業収益で補ったことにより、平成26年5月14日付「平成26年3月期決算短信」の期初公表値に対し、39百万円増(1.0%増)の41億39百万円となる見込みであります。

営業利益および経常利益につきましては、運賃仕入れコストの値上げ、燃料費の高止まり、人手不足ならびに労務コストの上昇といった事業環境にある中、物流業務にかかる高度な業務品質の維持・向上を迫られ、期待利益の確保が厳しい状況となってきております。具体的には、取扱物量に見合った倉庫保管スペースや労務費の効率化など経費削減に注力したものの、新規取込業務の立上げや物流拠点移動に想定以上の一過性のコストを発生させてしまったことや、利用運送事業分野において運賃の仕入れコストが増大したことのほか、国内物流事業における高度な業務品質の維持・向上にともなう労務コストの削減が思うように図れなかったことにより、期初公表値に対して、営業利益は73百万円減の2百万円、経常利益は69百万円減の11百万円と見込んでおります。

以上の結果より、四半期純利益につきましては、期初公表値に対して、45百万円減の0.1百万円と見込んでおります。

連結の当第2四半期累計期間の業績予想につきましては、主に、個別の当第2四半期累計期間の業績予想の修正要因により、上記のとおり修正いたします。

また、通期の業績予想(個別・連結)につきましては、主に個別の当第2四半期累計期間の業績見込を考慮するほか、下期の事業環境についても、上半期と同様の厳しい状況が見込まれ、特に、利益面については、価格競争と業務品質の維持・向上を迫られ、期待利益の確保が厳しくなっていることから、上記のとおり修正いたします。

(ご留意事項)

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上